

ゼロアップセンター アンビアン便り 10月

徒然なるままに……

9月までの4回シリーズで『実在の“私”の本質(高次の自己=魂)は常に宇宙の全てと繋がって自由に存在している意識エネルギーで、波動。従って形は有りません(共感覚幻想)。在るけれど、有りません。周波数の違いがあるのみです。』とお伝えしました。

「色即是空、空即是色」がそのことを簡潔に言い表しているのです。最先端科学の量子力学を、見えない波動・エネルギーを、科学用語を用いず、遙か昔に簡潔に言い表していたのですね。

ハーバード大学教授(女性初の終身在職権を持つ)、リサ・ランドール博士は 多次元世界を理論物理学で説きました。著書「異次元は存在する」「ワープする宇宙:5次元を科学する」(NHK出版)は話題を呼び、東大でも講義をされました。私はテレビでワクワクと拝見しました。近年は科学と宗教・スピリチュアリティの融合時代ですね。ではシリーズ5回目です。

宇宙はひとつの『エネルギーの海』

“私” = エネルギー = 光 = 波動 = 周波数

5、ゼロ = 「無」とは「全て」を含み、ニュートラルな、完璧で「在る」状態。

* 無色透明の光(レーザー光線)をプリズムに通すと七色の虹の光になる:

上記を逆に言うと、光の色全て合わせると透明になります。色も波動エネルギーで、それぞれの色の周波数があります。全ての色(周波数)を合わせると白、無色透明。色が無くなります。有ったものが無くなったのですが、実在・実際はそのまま在るのです。

「全ての色(波動、周波数)を均一に含むと無色透明 = 「無」に。即ち「全て」 = 「無」 = 「空」。

* 携帯電話中にトンネルに入ると声が消え、「ザー」とホワイトノイズになる:

また、車でラジオの音楽を聞きながら山を走っている時、トンネルに入ったら音楽が消え、「ザー」と音が変わりますね。これを物理学でホワイトノイズ、白い雑音と言います。

トンネルを出ればまた、音楽に戻ります。これはラジオ局の発信電波、即ち一部の周波数を選択しているからです。同じく、テレビ局の映像(電波)が終了すると、画面が白くなり、音が消え、ホワイトノイズが「ザー」と入ります。ホワイトノイズとは全ての音、周波数を均一に含む白

い雑音(消えた音)のことです。これらも、「全て」が含まれた状態が「無」という事ですね。

6、意識(エネルギー = 光)を向けたものが現象化する: 引き寄せの法則

宇宙は全て繋がって、常に自由に存在している『エネルギーの海』と科学的に解ってきました。宇宙の均一のエネルギーの海は無色透明な“光の海”です。ゼロ・ポイント・フィールドは、光 = 氣 = プラーナの海です。“私”の本質(魂)は常に光の海に在り、常に完璧です。

全てという事は 我々人類のみならず太陽・星・月も含む万物です。全ては波動、エネルギー(周波数)で繋がっていると言う事です。 ワンネスと言う事ですね!

一方、“神は光、神は全て”と言われていています。全てのエネルギー(周波数)を均一にもっている状態です。“神”に抵抗あればサムシング・グレート、ソース(源)、宇宙、何でもいいと思います。お伝えしたい事は、我々の想念、意識・無意識に出している想いや感情の波動エネルギーが、宇宙の均一状態 = 「無」から、均一を破り、3次元にそれぞれの現象(できごと)や形(物質)を生み出している(創造している?)と言う事です。『As above, So below.』 = 上の如く下も然り「無」から「有」を生み出しているのは 想念や感情、意識・波動エネルギーです。

でも、「色即是空、空即是色」です。

“私”と感じている「場」が「今、ここ」です。“私”を意識すると、特定の波動エネルギーが均一を破り、干渉を起こします(偏光)。その光エネルギーが跳ね返り、目に入り、又は五感で感じ、頭の中のスクリーンで、私という個人を認識します(有 = 色・光)。「我思う、故に我有り」ですね。

“私”と言ってもワンネス、集合意識です。みんなの思いや感情の波動(光)が頭の中のスクリーンに映っています。フォーカスすれば、意識を向ければ見えるのでしょ。う。が、見たくないからか、必要がないから見ないのでしょ。う(?)『脳の中で物事がどのように認識されるかによって、その物事の起き方&結末が異なってくる。全ては自分の中で起きている。(ヒューレン博士)』

ゼロアップセンター アンビアン

豊中市向丘2 - 10 - 7 - 202
TEL 06 - 6854 - 8810
E-MAIL zero@anbian.jp
ホームページ <http://anbian.jp>